



平成20年度「さわやか」活動報告

項目	19年度	20年度
登録ボランティア数	75名	69名
登録車両数	74台	67台
登録利用者数	43名	43名
送迎回数	2675回	2801回

(八幡・小倉事業所合算 平成21年3月31日現在)

議案は満場一致で採択

第六回「さわやか」定期総会開催

五月三十一日(日)午前十一時一〇分より、北九州市総合福祉センター(小倉北区)六階会議室で、特定非営利活動法人通院介護センター「さわやか」第六回定期総会が開催されました。岡副理事長が開会宣言を行い、資格審査委員に加藤理事と貞谷事務局長が選任されました。

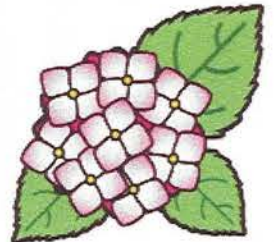
五月三十一日(日)午前十一時一〇分より、北九州市総合福祉センター(小倉北区)六階会議室で、特定非営利活動法人通院介護センター「さわやか」第六回定期総会が開催されました。岡副理事長が開会宣言を行い、資格審査委員に加藤理事と貞谷事務局長が選任されました。

二〇日に行われた会計監査報告を、山田理事長が代読しました。その後、山田理事長より平成二十一年度活動方針案が提案され承認されました。

次に梶原常務理事より、平成二十一年度の事業計画及び収支予算案が提案され、何れも承認されました。

山田理事長より、今年度の福祉有償運送運転者研修会の予定や、ボランティア利用者共に募集をしておりますので、各腎友会の協力をお願いしました。

十二時に全ての審議を終了し散会しました。



平成21年度

「さわやか」活動方針

- I、全腎協・福腎協・北九州ブロックと協働して運動をする。
- II、北九州市福祉有償運送運営協議会の運営を重視し、その方針に従って行動する。
- III、九州三県(福岡・佐賀・長崎)の通院送迎事業所との連携及び情報交換を行う。
- IV、北九州市障害福祉団体連絡協議会(障団連)に加
- V、東京ハンディキャブ連絡会に会員登録をする。
- VI、NPO法人北九州小規模連との連携をとる。
- VII、その他
 - ①「さわやか」新聞の発行
 - ②研修交流会、及び学習会の開催
 - ③運転ボランティア及び、利用者の募集をする。

宮崎でも送迎事業をとの

熱い思い・・・

宮崎より「さわやか」に訪問

六月二日(火)宮崎市議会議員の鈴木一成氏と宮崎県腎協宮崎中央ブロック会長の中迫晴美氏が「さわやか」の視察にお見えになりました。お二人は、「さわやか」の設立時の経緯や現在の状況、また、福祉有償運送についてそれぞれ熱心に質問されていました。

その時にボランティアの溝口和弥さんが事務所に顔を出され、実際に送迎を行っているボランティアさんの率直な意見も聞かれました。

その後、送迎の様子を見るために、済生会八幡総合病院に移動しました。

そこでもボランティアさんや患者さんの生の声を聞いておられました。

是非、宮崎市にも送迎事業所を立ち上げたいとの思いを受け、今後「さわやか」でも出来る限りのお手伝いをさせていただくことを、約束し、お二人は、宮崎への帰路に着かれました。

編集後記

梅雨に入ったとはいえ、毎日カラカラ天気が続いています。

福岡の油木ダムも枯渇まで十日あまりと、深刻な状況となっております。

早く一雨ほしいところですが、主婦としては今のうちに、こたつ布団や毛布の洗濯を済ませてしまいたい、と気があせるのも事実です。

節水よ、節水よ、とつばやきながら、風呂の残り湯を洗濯に、洗車に、庭の植木の水やりにと、分水している今日このごろです。

(K)



(左) 中央ブロック会長 中迫氏 (中央) 市議会議員 鈴木氏

団結して声を上げていかないと

北九州市障害福祉団体連絡協議会（障団連）

第12回定期総会に参加

六月六日（土）午前十時より、ウエルとばた十一階にて北九州市障害福祉団体連絡協議会（障団連）第十二回定期総会が行われました。「さわやか」から四名が、

事務局次長の中島氏が開会宣言をし、北九州市障害福祉団体連絡協議会会長北原守氏の挨拶がありました。地域の皆さんに愛されるよう

北原氏は、昨年度は運動の強化や組織力の強化など飛躍した年であったと述べ、障害者が地域で普通に暮らす事が目標であり、地域の皆さんに愛されるよう、更に運動を強化していくためには、三十八団体が、力を合わせ、団結し声を上げていかなければならないと述べました。

続いて、北九州市の北橋健治市長と、北九州市議会議長佐々木健五氏の代理の三坂議会事務局長より来賓祝辞がありました。議長に、NPO法人列島の会の中村儀成氏と、議事録

研修会では、障害福祉課企画調整係長の小池氏より「平成二十一年度北九州市における障害福祉事業計画及び予算」についての話がありました。

障害福祉関係の予算では

5年ぶりにプラス

始めに、平成二十一年度障害福祉関係当初予算についてでした。

予算規模では、平成二十一年度は、五年ぶりにプラス予算になりました。

主な事業では、今までの事業に加え、ひきこもり地域支援センター、自殺対策事業を増やしたとの報告が、



ありました。

その中には、福祉医療費支援制度の見直しについて、次のようなものがありました。

- ①乳幼児医療費支給制度
- ②母子家庭等医療費支給制度
- ③重度障害者医療費支給制度

また、障害者スポーツセンターの改修については、是非障害当事者の意見を取り入れるようにしてほしいとの意見ができました。十二時三十分を終了しました。

新型インフルエンザにご注意

北九州市でも患者が確認されました

今回の新型インフルエンザは感染力は強いですが、多くの方は、軽症のまま回復されています。

しかし、基礎疾患を持つ方を中心に重症化したケースもありますので、皆さん予防に心がけましょう。

【かからない】ための予防法

- ◇人込みへの外出を避ける
- ◇人込みではマスクを着用する

- ◇頻繁な手洗い（別図参照）
- ◇咳エチケット
- ◇うがい
- ◇時差通勤・時差通学



※こんな人は特に注意を

- ◇ぜん息や腎機能障害の方
- ◇ステロイドを定期内服している方
- ◇がん患者、妊婦など

【かかったかな】のサイン

- ◇潜伏期間は1〜7日間
- ◇症状は急な発熱（38〜40度）
- ◇悪寒、頭痛、筋肉痛、関節痛、下痢
- ◇有症状期間は3〜7日間程度

症状が出たときの行動

- ◇無理して出社・登校をせずに休む
- ◇発熱相談センター（地域の保健所などに設置）に電話
- ◇かかりつけ医がいればそちらに電話で相談

本人と家族が心がけること

- ◇外出は避ける
- ◇栄養をとり、安静にして十分な睡眠をとる
- ◇家族への感染を防ぐため個室で療養をする
- ◇お茶やスープなどで水分補給をこまめにとる
- ◇部屋の湿度を高め（50〜60%）にし、換気をする
- ◇定期的に部屋の換気をする
- ◇処方箋は決められたとおり最後まで飲むこと
- ◇患者と接した家族はすぐに手洗いをする

（別図）

正しい手洗いの方法の図



インターネットより